

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3891300075
法人名	医療法人 明生会
事業所名	グループホームこもれびの家
所在地	愛媛県四国中央市下柏町5 4 番地 1
自己評価作成日	H 2 3 年 2 月 2 日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成23年3月1日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

広い窓から四季の風景を眺めることができ、天候や自然の移り変わりがよくわかり、ウッドデッキとゆったりとした環境の中「いつも一緒に楽しくゆっくり」「人と人の結びつきを大切に」を心がけ利用者様と共に生活しています。季節の食材を使いバランスのとれた食事・季節感を味わって頂けるよう利用者様と一緒に作り食を楽しんでいます。学習療法の取り組みを行っています。地域の行事・ボランティアの方々の訪問を大切に交流を行っています。母体が病院でいつでも受診でき、また訪問看護と連携をとり適切な受診や看護を受けられるよう支援を行っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

市が主催する「徘徊ネットワーク」時には、事業所の職員が利用者役になって協力をされた。事業所の「ホーム便り」は、運営推進会議時に市の担当者の方が持ち帰って、課内を回覧してくださっている。
 事業所では「ご家族の面会が増えてほしい」というような思いも持っておられ、ご家族が来訪する機会を作っておられ、便り等を通じて行事等にお誘いしたり、誕生会の日にご家族を招き、一緒にお祝いされたり、年末の大掃除には、協力いただけるご家族を募り、一緒に共用空間や居室の掃除をされた。
 事業所では、実際の支援を通じて「利用者個々が生活の中で活躍する場面を多く作る」ことが「利用者の生活をスムーズにする」と感じておられ、きっかけ作りや職員の利用者へのかかわり方を大切に支援をすすめておられる。
 ご自宅での習慣を続けられるよう居室の窓の外側に新聞受けを設置して、毎朝、ご自分で窓を開けて新聞を取り、読まれる方がいる。又、体力作りには下がり健康器を置いている方もおられる。ご主人の位牌を持って来られている利用者には、職員と一緒に時々お茶等をお供えして拜んでおられる。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 該当するものに 印	項 目	取 り 組 み の 成 果 該当する項目に 印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホームこもれびの家

(ユニット名) _____

記入者(管理者)

氏名

加地正子

評価完了日

平成23年2月2日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所 理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有 して実践につなげている	(自己評価) 職員はもとより訪問者の目にも止まりやすい位置に掲示して いる。月に一度のミーティングでも確認し、その都度原点に 返り理解と共有を意識づけケアへと繋げるよう心がけている。	
			(外部評価) 事業所は「人と人の結びつきを大切にする」ことを理念に掲 げて、利用者のご家族、又、事業所と地域の方達等、人と人 のつながりを大切にしている取り組みをすすめておられる。又、 今年の目標には「大きな耳 小さな口 やさしい目」と決め て、理念と目標が玄関から入ったところの壁に、職員の顔写 真入りの紹介とともに掲示されていた。理念は、ミーティング 時、皆で読み上げながら日々のケアを確認されたり、管理者 は時に、職員のケアの場面を捉えて、理念を伝え、職員と一 緒に立ち戻って考えるようにされている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられる よう、事業所自体が地域の一員として日常的に 交流している	(自己評価) 自治会に入り利用者と回覧板を次のお宅に届けたり、運営 推進会議などで地域の行事を教えて頂き、利用者が楽しめる 行事には出かけているが、近所の決まった人達との付き合い で利用者個々が地域の中で生活を拓いて行くことは難しい。	
			(外部評価) 玄関には、近所でいただいた椿の木が生けてあり、たくさん の花を咲かせていた。お隣の方が堀越しに声をかけてくだ さったり、野菜を持って来てくださる近所の方も複数あり、時 には、お礼に手作りのおはぎを持って行かれることもある。最 近は、近所の方がパンを焼いて持って来てくださり、居間に 上がってもらって一緒にお茶を飲みながらおしゃべりして帰 られたようだ。民生委員の方や地元の職員、利用者のご家 族の知り合い等からの紹介で踊りや手品等のボランティアの 方が来てくださるようになり、又、市内のグループホームで行 われている音楽療法に、職員は、利用者とともに参加させて もらって利用者の方が実際に行い喜ばれたことから、事業所 にも毎月来てもらうことになり、居間のピアノ等も弾いてくだ さり楽しく時間を過ごしておられる。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症 の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向 けて活かしている	(自己評価) 運営推進会議や家族会等を活用し、認知症の人の理解を 深めていただけるよう働きかけている。(人形を使って認知症 の方の関わり方など寸劇を行う)地域への貢献はできていな いが市の徘徊模擬訓練など参加させていただいた。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価) ホームでの生活状況や問題点等の報告や話し合いを行い、助言や地域の情報を得ている。頂いた意見を取り入れサービス向上に努めている。(避難訓練で非常口の階段はスロープが良いのではとのご意見をいただき、法人にお願いしスロープにすることができた。)</p> <p>(外部評価) 会議時、外部評価の結果や目標達成計画等を用いて、事業所が今後取り組んでいくこと等について報告されたり、訪問看護ステーションの方に「メタボリックシンドローム」について講義をしていただき皆で勉強されたこともある。又、近所の方からは「ホームがどのような施設か分からなかったが、会議に参加することで、中の様子を見ることができて、今までは歳をとることを不安に思っていたが、こんな施設があることを知って怖くなくなりました」と感想をいただき、職員も感動されていた。ご家族には全員に会議参加を呼びかけ、毎回議事録を送付されている。今後、ご家族の方のご都合で曜日を変更して開催することを考えておられた。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 月に1回ふれあい相談員さんの訪問がある。運営推進会議に高齢介護課の方が参加してくれている。市町村の行事にも出来るだけ参加し協力関係を築けるよう努めている。毎月のグループホーム便りを市に送っている。</p> <p>(外部評価) 介護相談員の方の訪問時は、利用者とお話をしていただき、話の内容等を事業所に届けてくださっている。又、事業所でも「感じたこと」等について返事を書いて渡し、市に報告するようになっている。市が主催する「徘徊ネットワーク」時には、事業所の職員が利用者役になって協力をされた。事業所の「ホーム便り」は、運営推進会議時に市の担当者の方が持ち帰って、課内を回覧してくださっている。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 職員は身体拘束について理解しているが、職員が少なく、見守りが不十分になると判断した場合は、やむを得ず玄関に施錠することがあるが、現在は帰宅願望の強い方はいなくオープンに出来ている。家族会、運営推進会議でも話し合い施錠の理由を説明し理解していただいている。</p> <p>(外部評価) 玄関は施錠せず、出入り時にはセンサーでチャイムが鳴るようになっている。天候の良い時にはテラスに出て過ごされたり、テラスでたばこを吸う方がいる。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 研修に参加しミーティングで報告、学ぶ機会を持っている。常に更衣時や入浴時に異常がないか気をつけている。小さな気づきも日誌などで申し送り職員間で情報を共有している。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 権利擁護に関する制度の理解はできているが、職員の異動や新しい職員も増え、今後研修の機会を設けたい。現在活用されている方はいない。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時に重要事項説明書などで説明を行い、理解、納得を得ている。また不安や疑問点を聞き取り説明している。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 面会時や家族会などに気軽に話せるような雰囲気づくりに努めている。苦情については、書類に記し、管理者会議で報告し反映に努めている。アンケートや意見箱の設置を行い意見を頂けるよう努めている。	
			(外部評価) 玄関から入ったスペースに机を置き、アルバムやご家族に見ていただきたいような書類を置いておられ、椅子を置いて座って見られるようにされている。事業所では「ご家族の面会が増えてほしい」というような思いも持っておられ、ご家族が来訪する機会を作っておられ、便り等を通じて行事等にお誘いしたり、誕生会の日にご家族を招き、一緒にお祝いされたり、年末の大掃除には、協力いただけるご家族を募り、一緒に共用空間や居室の掃除をされた。家族会は、年4回行っておられ食事をしながら、親睦や関係作りに向けて取り組んでおられ、ご家族から利用者ご本人のことを教えてもらったり、ご家族と近くを散歩されながら過ごされている。3月の家族会は、プロの板前さんが事業所に来てくれ、にぎり寿司を握ってくださるようになっている。法人の施設が開設したことに伴い、職員の異動や入れ替わりがあったようであるが、ご家族の来訪時や家族会・ホーム便りで職員を紹介したり、廊下に職員の顔写真や名前を掲示して知らせておられる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<p>(自己評価)</p> <p>ミーティングで意見や提案を話し合ったり、個々の面接を通して聞く機会を設けている。そこで出た意見や提案は、法人のミーティングで伝え反映されている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>職員が習っているフラワーアレンジメントや手品等の趣味活動や料理等の得意な方もおられ、事業所内でも活かせるよう取り組んでおられる。ミーティング時「おむつを使用するかどうか」話し合った際、管理者は、おむつを使用することでの弊害等も話し「利用者にとってどうか」という視点で話し合われた。職員から「おむつを使用することを控え、利用者の尿意を大切にしたいケアをすすめていくこと」への提案があり、支援内容を話し合われたようである。</p>	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<p>(自己評価)</p> <p>半期ごとに自己目標を掲げ自己評価を行っている。それにより努力や実績を把握し、施設長が給与水準を上げるべく働きかけを行ってくれている。業務内容の見直しは職員間で話し合い行っている。</p>	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<p>(自己評価)</p> <p>資格修得の支援をしてくれ、研修にも参加させてくれる。</p>	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	<p>(自己評価)</p> <p>外部研修・相互研修・四国中央市GH交流会などに参加し、同業者と交流し情報交換の機会を持っている。研修で得た情報は、ミーティングなどで報告し話し合いサービスの向上に努めている。</p>	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	<p>(自己評価)</p> <p>本人、家族から多くの情報と想いを聴くように努めている。入居後は日々の関わりを大切に、信頼関係が築けるよう、寄り添いを大切に、言葉や表情の変化を見逃さないように努めている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		初期に築く家族等との信頼関係サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 職員全員が面会時など家族と話しやすい雰囲気づくりに努めている。面会時などに近況報告を行い要望などを聴くことができるよう努めている。相談を受けた時は、傾聴し丁寧に対応し受け止めるようにしている。	
17		初期対応の見極めと支援サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 入居前の様子の情報収集を行い、職員間で協議し、見極め本人や家族の希望等を交えたサービス提供が出来るように努めている。	
18		本人と共に過ごし支えあう関係職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) ミーティングで話し合い、利用者の出来ること・得意なことを見極め、共に生活する中で、時には教えてもらったり楽しく生活できるように努めている。	
19		本人を共に支えあう家族との関係職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族の面会時には近況報告をし、通院、家族会、誕生日の参加を呼びかけ、共に支えていく関係を築いている。また利用者が不安になっている時なども連絡して協力を得ている。	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 本人や家族から情報を得て馴染みの人に連絡し、誕生日を一緒に祝ってもらったり関係が途切れないように努めている。(年賀状・暑中見舞いを送付・馴染みの美容院など利用) (外部評価) 家族会時には、ご家族と食事したり、散歩しながら過ごされるが、ご家族がおられないような利用者の方には、ご本人と馴染みのある他事業所の職員の方等が席をともにくださり、一緒に過ごすよう配慮されている。お孫さんからのハガキに返事を書くためハガキを自室に置いている方が見られた。	さらに、利用者個々がこれまで大切にしてきたことについて探り、利用者個々の思いや意向をもとにして支援につなげていかれてはどうだろうか。それぞれに事情等もあって支援に難しさもあるだろうが、その人らしい暮らしを続けられるよう「事業所でできることはないか」話し合われてみてはどうだろうか。又、入居後についても、事業所がある地域で、いきつけの場所や知り合いの人等、利用者個々にとって馴染みの人や場所を作っていくような取り組みも、すすめていかれてはどうだろうか。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) その日の様子を観て、ソファーに座る位置など配慮し寛げる雰囲気を作ったり、必要に応じて食堂の座席を考えゆったりと食事が出来るように支援している。一人ひとりを理解し、その時々思いに合わせた関わりを持ち孤立しないように努めている。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 同法人のグループホームに移られた方とは、行事(そうめん流し・芋掘り・餅つきなど)に招いたり交流している。また療養病棟に移られた方は時々面会に行くが相談や支援の機会はないが関係を大切にしたい。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日々の関わりの中で本人の思いを知り、ミーティング等で話し合い、暮らし方の希望や意向の把握に努めている。アセスメント表を作成し、職員間で情報共有に努めている。 (外部評価) 居室で、ノートや広告の裏を使ってメモされる方もおられ、時には「欲しいもの」を書いておられたり「ご家族へ向けてのメッセージ」を書かれることもある。「家族には心配をかけたくない」というような思いを持っておられる利用者も多く、ご家族には気丈に振る舞うような利用者もおられるようだ。事業所では、8月にアセスメント表を新たにしておられ、利用者個々のこれまでのこの情報の記録しておられた。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 日々の生活の会話での聞き取りや家族や親類の協力で得た情報(アセスメント表)を、職員間で共有するように努めている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 日々の生活の中で、小さな変化を見落とさないように、現状の把握に努め、介護日誌、介護記録に記入し申し送っている。訪問看護とも連携を取っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>家族の面会時、家族会や運営推進会議の後、時間をつくり話し合い情報を得、本人やご家族の希望に添うようミーティングで話し合い介護計画を作成している。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>「介護計画達成状況表」を用いて、毎日、その日勤務の職員が、介護計画の支援内容について、実践できていたら」を付けて、モニタリングされている。その表を用いて毎月、利用者個々の担当職員が計画の評価を行い、介護計画は3か月ごとに見直すようになっている。ご家族には、来訪時等に利用者の暮らし方やケアへの要望をお聞きして、ご本人の暮らしの希望も記してあった。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ケアプランの達成状況を日々記録しているので職員間で統一したケアの実践ができ、介護計画の見直しにも活かされている。介護記録の記録の仕方をもっと工夫しケアへの実践にもっと反映出来るように努めたい。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>本人や家族の状況に合わせ柔軟な対応が出来るよう心がけている。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人や家族の状況に合わせ柔軟な対応が出来るよう心がけている。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>本人や家族の状況に合わせ柔軟な対応が出来るよう心がけている。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>法人のグループホーム・通所介護と交流があり時々利用している。また学生ボランティア、地域の方の慰問の協力を得ているが今後も地域資源の把握に努める必要がある。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>本人や家族の状況に合わせ柔軟な対応が出来るよう心がけている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 本人・家族が希望するかかりつけ医にて受診している。また専門医の受診が必要な時は相談に乗れるよう努めている。必要に応じ訪問看護から主治医に連絡をとり指示を仰ぎ支援している。	
			(外部評価) 病院受診時には、日々の利用者の様子を「連絡ノート」に記して、ご家族に渡し、医師に見てもらうようにされている。訪問看護ステーションからは、週5回の訪問があり、病院の橋渡しをしてくださり、利用者個々の健康管理をされている。又、薬や状態等も相談しながら支援されている。	
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	(自己評価) 訪問看護、近隣の通所介護の看護職員とも連携を取り、適切な受診や看護が出来るよう支援している。	
			(外部評価)	
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) 入院時には情報を提供し、早期退院が出来るよう連絡を取り合っている。職員も面会に行き不安解消に努めている。	
			(外部評価)	
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 早い段階で本人、家族の意向を大切に、主治医とも相談「できること、できないこと」を見極め支援に取り組んでいきたい。(重度化・終末期について家族会で話し合った)	
			(外部評価) 家族会時、利用者の重度化や看取りの支援の希望をお聞きした際には、法人に病院や他の施設があることもあって「最期は病院で見ていただければ」と思っているご家族が多かったようである。事業所の近くに母体病院の院長宅もあり、電話はワンプッシュで連絡ができ、駆け付けてくれるようになってきている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 法人の勉強会・東予GH協会の研修で消防署の方の協力を得、緊急時の対応について訓練することが出来た。職員全員が対応できるよう定期的に訓練を行えるようにしたい。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 年2回防火訓練を行っている。運営推進会議で火災訓練を行い地域の方の協力体制も築けてきている。地域の消防団員の方が施設を見学に来て下さり、連絡先を教えて頂いた。運営推進会議にも消防団の方が参加して下さっている。 (外部評価) 運営推進会議時、避難訓練を行った際には、地域の方も一緒に訓練に参加していただいた。地域の方には、外に避難した利用者を近くの避難場所まで誘導していただいたり、見守りをお願いされた。又、地域の方と、ともに消火器の使い方習った。運営推進会議時に、参加者からご意見もあって、非常出口の階段をスロープにされた。	
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 職員間で話し合い、プライバシーを損なわない言葉かけや対応を心掛けている。時に職員のペースになっていることがあり注意したい。 (外部評価) 事業所では、実際の支援を通じて「利用者個々が生活の中で活躍する場面を多く作る」ことが「利用者の生活をスムーズにする」と感じておられ、きっかけ作りや職員の利用者へのかかわり方を大切に支援をすすめておられる。男性利用者がホワイトボードに毎日「今日の献立」を書いてくださり、食事のあいさつも行ってくださっている。又、利用者が家事等を行う際には、職員も利用者と一緒にやるようにされている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 本人の思いや希望を表したり、自己決定出来るよう、声かけなど工夫している。日々の関わりの中で思いを酌み取るように努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 無理な声かけはせず出来るだけ利用者の希望に沿った支援に努めているが、職員の勤務人数により、業務に追われ職員側の意向をあおることがある。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 家族の協力を得ながら馴染みの理容・美容院へ行っている。毎日お化粧される方や髭そりをされる方、外出時に洋服を着替えるなどその人らしい身だしなみが出来るよう支援している。またヘアブラシなど手近に設置している。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 季節の行事のメニューや旬の野菜を取り入れ食事を楽しみながら、利用者一人ひとりの力を活かし、一緒に調理から片づけまで行っている。好みにも配慮している。 (外部評価) 事業所では、利用者が「1番の楽しみである食事」に、利用者個々がかわることが出来るような支援に力を入れて取り組んでおられる。職員は、利用者への声かけや場面作りに工夫して支援されている。冬場は、白菜や大根等、近所の方から野菜のおすそ分けが多くあり、いろいろな味のお鍋にして楽しまれたようだ。大きい大根をもらったことがきっかけで、利用者から「うちに橙がなるとよ」と言ってくださり、ご家族にも連絡して職員と採りに行かれた。調査訪問時の大根を使った「紅白なます」は、利用者と採って来られた橙を使って作っておられた。利用者がネギや白菜を切ってくださいたり、以前、食堂を営んでおられた利用者は、職員とおしゃべりしながら一緒に洗い物をされていた。又、食後に職員とテーブル席で食器拭きをされる様子もうかがえた。昼食のお鍋は、利用者ご自分が好きなだけ器に注ぎ、職員は「野菜は体にいいからたくさん食べて」とお代わりをすすめられ、お好きな具を選びながらお代わりしている利用者が見られた。又、他の利用者にも「お注ぎしましょうか」と声をかけてあげている利用者もおられた。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 野菜を中心にバランスよく栄養が偏らないよう配慮し献立を考えている。食事量や水分摂取量を記録し、不足している場合はおやつなどで補えるよう支援している。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後、口腔ケアを行い、歯ブラシを柔らかいのに変えたり、一人ひとりに応じたケアを支援している。義歯は毎夜、消毒している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	<p>(自己評価)</p> <p>排泄パターン表を活用し、定期的なトイレの声かけにより失敗しないよう支援している。声掛けの工夫も行っている。終日紙パンツを使用していた利用者も日中は布パンツに移行し気持ちよく生活できるよう支援している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>トイレ使用時は、ゆっくりトイレで座っていただけるよう、職員はトイレの外で居るようにされている。食後、歯磨きをした後でトイレに誘っておられるような場面も見られた。</p>	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<p>(自己評価)</p> <p>毎食事にお茶ゼリーなどを付け食物繊維を取り入れるよう工夫している。便秘の方には、のむヨーグルトをプラスして飲んでいただくなど工夫し、服薬は便の状態に合わせて調整している。</p>	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	<p>(自己評価)</p> <p>日曜日・イベントのある日以外は入浴できるようにしている。個々の曜日や時間帯は決めていないが、声かけのタイミングや言葉を選ぶことで無理強いをせず、入浴して頂けるよう支援している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>入浴に気が進みにくい利用者が多いようであるが、ご本人が家事等で活躍した後や、廊下を歩行練習するような時には、その流れから入浴にお誘いしたり、又、職員が手を握り「手が冷たいね、お風呂であたためようか」と、ご本人が入浴に気が向くようなタイミングや声かけに努めておられる。又、入浴時は、お好きな入浴剤を選んでもらったり、利用者はお風呂から出た際には「気持ちよかった」と言われるようである。</p>	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<p>(自己評価)</p> <p>個々の体調や状況に応じ昼寝を取り入れたり、自由に居室や和室で休息できるようにしている。馴染みの布団や枕を使用。自宅でベッドを使用していなかった方はベッドをはずし安心して眠れるよう支援している。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 個々に薬剤情報をファイリングして、いつでも確認できるようにしている。変更があるときは日誌で申し送り、症状の変化に注意している。必要に応じて訪問看護師や主治医に相談している。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 生活歴や趣味などを活かし個々の能力を発揮出来る場面を提供できるようケアプランに設定し全職員が共通意識を持って支援できるように心がけている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 勤務体制により希望に沿えない時が続くこともあるが、出来る限り実現させようと努力している。お花見・紅葉・地方祭など外出の機会を作っている。地域の子供太鼓が来てくれる。お正月・お盆など家族の協力も得られている。	
			(外部評価) 季節の良い時には、敷地内の畑の世話をしたり、利用者が花壇の水やりをしてくださっている。食材の買い足しに出かけたり、近くの大柏まで散歩されている。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 本人の希望により財布を所持している方もいる。散髪や嗜好品の買い物など希望に沿って本人の財布から支払えるよう支援しているがあまり使っていない。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 本人の希望に沿って支援できている。特に希望が無い方にも、年賀状や暑中見舞いを書いていただいたり、プレゼントが届いたときはお礼の電話をかけていただくよう働きかけている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) トイレの場所が分かるように名札を掲げ、季節の花やお雛様、五月人形、クリスマスの飾りつけなどを行い季節感をかもしだしている。カーテン、加湿器にて光や湿度の調節の工夫をしている。	
			(外部評価) トイレの場所が分かりにくい利用者には、居室の戸を開けると、前の壁にトイレの方向を示す紙を貼り、又、自室も分かるように表札とともに白い花の造花を付けて目印にされている。居間やトイレ・廊下等は、きれいに掃除をしておられ、居間には、ひな人形や春の花のアレンジメントを飾っておられた。又、利用者のご自宅から採って来られた橙を台所のカウンターに置いておられたり、誕生日や行事時等の写真も飾っておられた。利用者が落ち着かないような時には、ご本人はカウンター席に座り、職員は台所で食事の支度をしながら、味見をしてもらったりおしゃべりしてコミュニケーションをとり、食事のいいにおい等に、ご本人の心も落ち着かれる時もあるようだ。窓は大きい造りで、北側には製紙工場の煙突の煙、南側の畑は、春には一面がレンゲ畑となり、利用者の目を楽しませてくれる。畳の間では、男性利用者が掘りこたつで新聞を読んだり横になったりして過ごしておられ、昼食後ソファでテレビを見ながら横になる利用者には、職員が枕や毛布を用意しておられた。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 気の合う利用者同士で掘りこたつで寛がれたり、暖かい日にはウッドデッキで日向ぼっこも楽しめる。リビング食堂と思い思いに寛がれる居場所を工夫している。	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 利用者により個人差はあるが馴染みの物、家族の写真、御主人の位牌など持ち込まれ居心地よく過ごせるように工夫している。	
			(外部評価) 利用者個々の状態や習慣にも沿ったしつらえに努めておられる。ご自宅での習慣を続けられるよう居室の窓の外側に新聞受けを設置して、毎朝、ご自分で窓を開けて新聞を取り、読まれる方がいる。又、体力作りにぶら下がり健康器を置いている方もおられる。ご主人の位牌を持って来られている利用者には、職員と一緒に時々お茶等をお供えして拝んでおられる。電気こたつに入ってテレビを見る方や職員と本を買って来られて読む方もいる。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 居室前に名前と写真を掲示し、廊下やトイレなどには手すりがある。一人ひとりの出来ることを把握・理解し安全に生活できるよう支援している。	